

総合評価落札方式実施要領書 (標準型)

工事名：新横浜公園北側園地修景水路整備工事

【契約番号：0721010394】

平成 19 年 10 月

横浜市環境創造局

横浜市行政運営調整局

1 適用

本実施要領書は、価格その他の条件が本市にとって最も有利なものをもって申し込みをした者を落札者として決定する総合評価落札方式（標準型）を試行する次の工事に適用します。

(1) 工事名：新横浜公園北側園地修景水路整備工事【契約番号：0721010394】

(2) 工事場所：港北区小机町3300番

(3) 工事概要

整備面積：1.7ha

基盤整備工

植栽工（地被類植栽工）

設備工（給水設備工、中水設備工）

園路広場整備工

施設整備工（修景水路整備工）

(4) 工期：平成20年3月17日まで

2 実施スケジュール

入札公告から落札者決定までのスケジュールは次表のとおりです。

内容	日程
調達公告 設計図書のダウンロードの開始	平成19年10月9日
技術資料作成に関する質問書提出期限	平成19年10月17日
技術資料作成に関する質問書に対する回答	平成19年10月23日
技術資料及び入札参加資格確認資料の受付期間 入札期間	平成19年10月26日から 平成19年10月30日まで
開札予定日（注1）	平成19年11月13日
落札者決定、評価結果公表（注2）	平成19年11月下旬

(注1) 入札参加者に対して予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者（以下「最低価格入札者」という。）等を通知します。なおこの時点では評価値を計算しないため、当該最低価格入札者が必ずしも落札者となるとは限りません。

(注2) 評価値の最も高い入札者の入札価格が調査基準価格を下回っている場合は、低入札価格調査を行いますので、落札者の決定及び評価結果の公表は表記日程より遅くなる場合があります。

3 提出を要する書類及び提出方法

入札に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）は、次のとおり必要書類を提出してください。

(1) 提出書類及び部数

ア 入札公告に定める入札参加資格に関する提出書類（記載内容を証明する書類を含む。以下「入札参加資格確認資料」という。） 1部

イ 別表-1に定める書類（記載内容を証明する書類を含む。以下「技術資料」という。） 3部

(2) 提出先となる部課名

〒231-0017 中区港町1丁目1番地

行政運営調整局契約財産部契約第一課（関内中央ビル2階）

電話 045(671)2244

(3) 提出方法

直接持参してください。

(4) 提出期間

「2 実施スケジュール」に定める技術資料及び入札参加資格確認資料の受付期間（土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで）

(5) その他

ア 入札参加資格確認資料及び技術資料の一部でも提出のない場合は、当該入札を無効とします。

イ 入札参加資格確認資料及び技術資料の作成に要する費用は、提出する者の負担とし、提出した資料等は返還しません。

ウ 入札参加資格の確認は、入札公告本文5に定めるとおりです。

4 技術提案の範囲

修景水路の水質保全のための、水路の構造や、導入する施設等に関する内容を提案の範囲としますが、鶴見川の越流による堆積土砂の清掃を容易にするため、水路底をコンクリート張りにしており、この部分は変更しないものとします。なお、鶴見川からの越流は1回/1.5年の頻度で発生することを想定しています。

また、全体的なレイアウトに影響を及ぼすため、修景水路の配置、ルートについては、変更しないものとします。

竣工後の施設は、水路法面の草刈程度の管理を行うことを予定しており、この管理水準を大きく越えることが無いことも提案の範囲とします。

5 技術資料作成に関する質問・回答等

技術資料を作成するにあたり質問がある場合は、「現場説明に対する質問書」により「2 実施スケジュール」に定める期間内（土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで）に、次の部署に提出してください。なお、評価基準に関する質問については受け付けません。

〒231-0017 中区港町1丁目1番地

環境創造局環境整備部緑事業課大規模担当（関内中央ビル5階）

電話 045(671)4125

また、これに対する回答は「2 実施スケジュール」に定める日に、「現場説明に対する質問書」の回答と同様に横浜市ホームページ（環境創造局ホーム>公共工事について>設計図書に関する質問の回答）に登載します。

（アドレス <http://www.city.yokohama.jp/me/kankyoku/kouji/kaitou/index.html>）

なお、質問の内容が工業所有権等の排他的権利に関係する場合等には、「2 実施スケジュール」に定める日に直接質問者へファックスで回答することがあります。この場合、ホームページへの登載は行いません。

6 技術資料の評価項目及び落札者決定基準

技術資料の評価項目及び落札者決定基準は別表-2のとおりです。

7 技術資料の要求要件及び欠格事由

各評価項目において、一項目でも「欠格」に該当する場合（資料に記載がない、無関係の記載しかない等不適切な内容の場合）には、要求要件を満たしていないと判断します。この場合、技術評価点を計算せず、落札者としません。

また、本件工事における評価項目の詳細及び用語の定義は以下のとおりとします。

- (1) 技術提案に係る技術的所見は、「修景水路の水質保全について」とします
- (2) 工程管理に係る技術的所見は、「工事全体の工程管理に関すること」とします。
- (3) 安全管理に留意すべき事項は、「既公開区域の利用者に対する安全上の配慮について」とします。
- (4) 環境負荷軽減に配慮すべき事項は、「環境負荷軽減に関する独自の取り組み」とします。
- (5) 同種工事とは、「地区公園以上の公園の修景水路整備工事」をいいます。
- (6) 横浜市優良工事請負業者表彰の同一部門とは、「土木」部門をいいます。

8 入札及び開札

- (1) 入札は電子入札により行います。
- (2) 入札方法等は入札公告本文3に定めるとおりです。
- (3) 入札期間は、「2 実施スケジュール」で示した期間（土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前9時から午後8時まで。ただし、最終日は午後5時まで）のとおりです。
- (4) 開札予定日に入札参加者に対して最低価格入札者名、当該入札金額及び調査基準価格を通知します（この時点では評価値の計算はされていませんので、当該最低価格入札者が必ずしも落札者となるとは限りません。）。

9 総合評価落札方式による評価の方法

(1) 技術資料の審査及び技術評価点の算出

ア 提出された技術資料について、別表-2の技術資料の評価基準等に基づき厳正かつ公平に評価、審査します。

イ 審査の経緯は、原則として非公開とします。なお、審査の過程において、提案内容に対するヒアリングを行う場合があります。実施する場合のみ該当者に連絡します

ウ 技術資料の審査の基準日は「2 実施スケジュール」に定める入札期間の最終日（技術資料の受付期間の最終日）とします（ただし、基準日を別に定める場合を除きます。）。

エ 審査の結果、評価項目ごとの最低限の要求要件を満たす場合に標準点（100点）を与え、さらに技術資料の内容に応じて、評価基準に基づき加算点を与え、技術評価点を算出します。

技術評価点 = 標準点（100点） + 加算点

オ 評価項目のうち、一項目でも「欠格」の評価基準に該当した場合は、要求要件を満たしていないと判断し、技術評価点の算出を行わず、落札者としません。

(2) 評価値の算出

(1)により技術評価点を算出した後、開札を行い、次の式により評価値を算出します。

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

ただし、算出方法は以下のとおりとします。

ア 標準点は100点とします。

イ 上記の入札価格は消費税及び地方消費税を除いた価格とし、単位は億円単位とします。

ウ 評価値は、小数点以下第4位未満を切り捨てます。

10 落札者の決定方法

(1) 次のアからエまでの要件にすべて該当する入札者のうち、8(2)により算出する評価値が最も高い者を落札者予定者とします。なお、評価値が最も高い者が2者以上あるときには、当該者にくじを引かせて落札予定者を決めます。

ア 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

イ 入札者が提出した技術資料が、6に定めた最低要求要件をすべて満たしていること。

ウ 評価値が標準点を予定価格(単位:億円)の105分の100で除して得た数値を下回っていないこと。

エ 入札公告に定める入札参加資格をすべて満たしていること。

(2) 評価値の最も高い者の入札価格が調査基準価格未満である場合の取扱は入札公告本文7によります。

(3) 落札予定者が決定した後に、学識経験者の意見聴取を行い、その結果を考慮し、落札者を決定します。

11 評価結果等の公表

評価結果等(落札者及び入札者の評価結果等)は、落札者の決定後、横浜市ホームページで公表します。

12 落札者の施工方法等

落札者は、提出した技術資料に基づき施工しなければなりません。また、技術提案等に係る設計変更等は原則として行いません。

13 技術提案等が達成されなかったときの取扱

(1) 入札参加者の技術資料等に、虚偽記載等明らかに悪質な行為があった場合には、横浜市一般競争参加停止及び指名停止等措置要綱の規定に基づき停止措置等を行います。

(2) 落札者の技術提案等が達成されなかったときは、自然災害等の不可抗力により達成されない場合を除き、落札者は本市の指定する期間内に次の式により算出した違約金を支払わなければなりません。

$$\text{違約金(税抜き)} = A - \frac{B + C 2}{B + C 1} \times A$$

A : 当初の入札価格

B : 標準点(100点)

C 1 : 入札時の技術提案等に基づく加算点

C 2 : 技術提案等が達成できなかった場合の加算点

計算の過程では、小数点以下第4位未満を切り捨てます。

14 評価結果に対する苦情申立て

評価結果に対して不服がある入札参加者は、書面により次のとおり苦情を申し立てることができます。

(1) 申立て先

〒231-0017 中区港町1丁目1番地

都市整備局公共事業調査室公共事業調査課(第一総業ビル4階)

電話 045(671)4084

(2) 申立て期間

評価結果の公表の日から起算して14日以内。なお受付は、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで。

15 その他

(1) 本市が配布する資料等は入札参加に係る検討以外で使用することを禁じます。

(2) 提出された技術資料の内容については、その後の工事において、その内容が一般的に使用されている状態になった場合には、本市が無償で使用できるものとします。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではありません。

(3) 技術資料に関する事項が他の者に知られることのないように、取り扱うものとします。また提出者の了承を得ることなく、その一部を採用することはありません。

提出する技術資料

分類資料	評価分類	評価項目	具体的評価項目	添付資料	様式	
技術資料	技術資料提出書 (表紙)				1号	
	企業の技術力	技術提案	修景水路の水質保全について	なし	2号	
		簡易な施工計画		工程管理に係る技術的所見	なし	3号
				安全管理に留意すべき事項 (既公開区域の利用者に対する安全上の配慮について)	なし	4号
				環境負荷軽減に配慮すべき事項 (環境負荷軽減に関する独自の取り組み)	なし	5号
	企業の施工能力	同種工事の施工実績	過去11年間の同種工事の施工実績	施工実績を証明する書類(契約書の写し又はコリズ登録の写し等)	6号	
		横浜市優良工事請負業者表彰の実績	過去5年間の同一部門の優良工事業者表彰の回数		7号	
	企業の社会性・信頼性	横浜市災害協力業者名簿の登載	横浜市災害協力業者名簿登載の有無		8号	

評価項目及び落札者決定基準

評価分類	評価項目	評価項目詳細	様式	記入方法	添付資料	評価基準	配点
企業の技術力	技術提案	工事目的物の性能・強度等に関する提案	2号	1 技術提案欄 あり・なし 必ずどちらかを で囲んでください。 2 技術提案の概要 技術提案の概要を簡潔に記入してください。標準案で施工する場合は「なし」と記載して下さい。	なし	水質の保全に関して、緩勾配の水路であることを踏まえ、効果のある提案が十分であり、重要な項目が記載されている	6.0
						効果のある提案が記載されている	3.0
						提案はあるが、一般的な事項のみの記載となっている	0.0
						提案が無い	0.0
	簡易な施工計画	工程管理に係る技術的所見	3号	本件工事の概略工程表及び工程管理に係る技術的所見を記入して下さい。 指定の様式をそのまま使用するか、項目を必要に応じて追加して記入してもかまいませんが、A4サイズ2枚あるいはA3サイズ1枚までを限度とします。 なお、技術的所見を記入していないもの、または技術的所見のみしか記入していないものは欠格とします。	なし	工程管理が適切であり、工程上重要な項目が記載されている。	6.0
						工程管理が適切である。	3.0
						不適切ではないが、一般的な事項のみの記載となっている。	0.0
						不適切である。(欠格)	欠格
		安全管理に留意すべき事項	4号	指定された安全管理に留意すべき事項について、その対策及び技術的所見を記入して下さい。 指定の様式(A4)1枚とします。	なし	留意すべき事項に対して、現場条件を踏まえて適切であり、重要な項目が記載されている。	6.0
						留意すべき事項に対して適切である。	3.0
						不適切ではないが、一般的な事項のみの記載となっている。	0.0
						不適切である。(欠格)	欠格
環境負荷軽減に配慮すべき事項	5号	指定された環境負荷軽減に配慮すべき事項について、その対策及び技術的所見を記入して下さい。 指定の様式(A4)1枚とします。	なし	配慮すべき事項に対して、現場条件を踏まえて適切であり、重要な項目が記載されている。	6.0		
				配慮すべき事項に対して適切である。	3.0		
				不適切ではないが、一般的な事項のみの記載となっている。	0.0		
				不適切である。(欠格)	欠格		

評価項目及び落札者決定基準

評価分類	評価項目	評価項目詳細	様式	記入方法	添付資料	評価基準	配点
企業の 施工能力	同種工事 の施工実績	過去11年 間の同種 工事の施 工実績 (1)	6号	平成8年4月1日以降に完成した同種工事の元請としての施工実績を記入して下さい。なお、本市発注工事(2)での実績がある場合は、それを優先して記入してください。またその内容を証明するため、右記資料を添付資料欄に資料名を記入のうえ、添付して下さい。	施工実績を証明する書類(契約書の写し又はコリンズ登録の写し等)	平成8年4月1日以降に完成した本市発注の同種工事の元請としての施工実績がある。	4.0
						平成8年4月1日以降に完成した本市発注以外の同種工事の元請としての施工実績がある。	2.0
						実績なし(入札参加資格としている場合には欠格)	0.0
	横浜市優良 工事請負 業者表彰 の実績	過去5年間 の優良工 事請負業 者表彰の 回数	7号	平成14年度以降に本件工事と同一部門で、本市における優良工事請負業者表彰を受けている場合に記入します。	なし	平成14年度以降に本件工事と同一部門で、本市における優良工事請負業者表彰を2回以上受けている。	4.0
						平成14年度以降に本件工事と同一部門で、本市における優良工事請負業者表彰を1回受けている。	2.0
						該当なし	0.0
企業の 社会性・ 信頼性	横浜市災 害協力業 者名簿の 登載	横浜市災 害協力業 者名簿登 載の有無	8号	平成19年度横浜市災害協力業者名簿の登載の有無を記入して下さい。	なし	平成19年度横浜市災害協力業者名簿に登載がある。	2.0
						平成19年度横浜市災害協力業者名簿に登載がない。	0.0
各評価項目の満点の合計							34.0

- 1 共同企業体の構成員としての実績の場合は、出資比率が10分の2以上のものに限ります。その場合は出資比率を証明する書類(J V協定書の写し等)を合わせて提出してください。
- 2 本市発注工事には、水道局、交通局及び病院経営局発注工事を含みます。